

矢倉岳を登る

2018年3月14日(水)

2018年12月画像追記

我部山(かべやま)

神奈川県足柄山地にある標高 870mの山である。おにぎりを立てたような特徴的な山容である。足柄道 の峠を越える旅人を見張る櫓(やぐら)のような形をしているので、矢倉岳という名がつけられたという。



足柄古道を下山し、途中で足柄万葉公園もあったので、興味がわき、後で調べてみた。(事前に調べるべきだった。)



「金時山の北側の足柄峠を通る足柄道は、古代より東国と西国を結ぶ官道と

して利用され、古事記や万葉集にも足柄という地名は残されている。‘奈良・平安時代に東国から西日本の防備のために赴いた防人が、足柄や足柄地方を詠んだ歌が万葉集の中に多い。’ことでも知られている。足柄万葉公園内は歴史散策・自然の景勝・万葉集の3区分からなっている。」と分かる。

今日は‘こすもす ハイキングクラブ’に入会して、最初の登山だ。姉崎駅、6時にバスで出発だ。駅までご近所のAさんの車に同乗させていただいた。今回のリーダーだ。入会の手続きで大変お世話になった方だ。

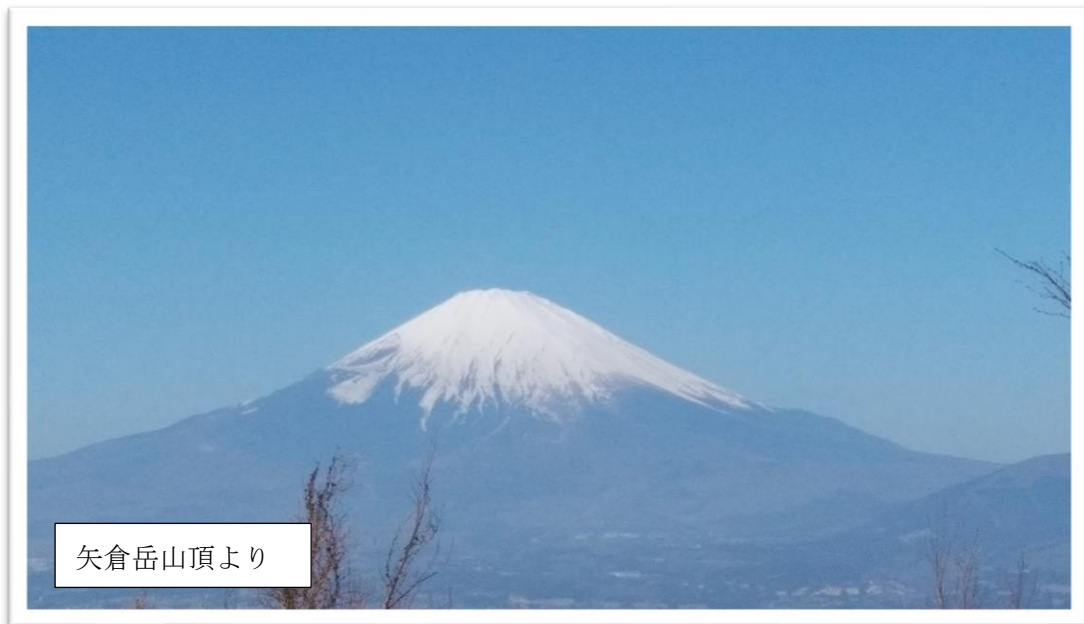
案内・計画書発送係のSさんが、‘男性は帰りに後ろの方で飲むので、後ろが良い。’と教えてくれた。最後尾に座る。五井駅から参加する人達を入れて総勢27名だ。水曜日チームと日曜日チームがある。先日、11日（日）に実施したチームの参加者人数は知らない。五井駅から乗ってきて隣に座ったTさんと会話を楽しむ。会の事など、いろいろと教わる。リーダーが‘安藤真由子氏著書の「登山体をつくる秘密のメソッド」’を紹介してくれる。海老名サービスエリアで小休憩し、大井松田ICで降りて矢倉沢バス停に8:30頃到着。

9時頃に出発。右側に藪椿が見える。とても大きくて立派だ。そして左側に鈴なりになった橙が見える。柑橘類の畑だ。そして茶畑に出る。やがて杉林に入り、スマレの花を見つける。近くの女性に名前を尋ねる。高山植物のことを聞いたら女性に限る。‘タチツボスマレ’と教えてくれる。さらに‘高山植物のことなら、Hさんに聞くと良い。’と教えてくれる。Hさんが高山植物博士なのだ。団体で登山すると、高山植物博士が一人や二人はいるものだ。



高山植物も期待できると楽しみにしていたが、それっきりだ。やがてところどころで富士山が見えて来る。雲ひとつかかってない。このような見事な富士山を見たのはいつだったか？

10年くらい前の3月、伊豆の十国峠で見て以来だ。その後はいつも雲がかかっていた。4年前に富士山頂上でご来光を仰いだが、雲ひとつかかってなく、周囲の山々、箱根他の街並みがくっきり見えた。下から見れば、今日のように見えたかもしれないと思う。



急登を登って10時半頃頂上に到着。独立峰なので、周囲の眺めが素晴らしい。周囲の山々もくっきりと見える。木が茂っている方角は見えないが、富士山が本当に素晴らしい。金時山も見える。湘南の海も見える。後は名前が分からない。Sさんが大きな声で‘富士山をおかずにして食事してください’と言う。どこでも拡声器が不要だろうと思うくらいによく通る声だ。

新入りの小生に気を遣って、時々声をかけてくれる。有難い。食事後、周囲の景色を楽しむ。中央部のくぼ地で小さな祠を見つける。矢倉明神である。全員で記念撮影をし、11時半頃、地蔵堂に向かって下山開始する。比較的緩やかな道だ。富士山が正面に見える。何度も見る。途中、足柄古道に入る。誰かが‘ここは金太郎が通った道だ。’と。‘万葉公園に近くなると、万葉の歌の看板？’が見えてくる。椿、ヤマブ、梅などの字が読める。帰った後で調べることにする。

防人の歌

足柄の御坂に立して袖振らば家なる妹はさやに見もかも(藤原部等母麻呂)

足柄のみ坂給はり返り見ず我れは越え行く.....(長歌)(倭文部可良麻呂)



地蔵堂に 14 時過ぎに到着。バスで移動し、‘さくらの湯’に入る。
御殿場線の山北駅前だ。コンビニに行き、ビール他を購入。

15 時過ぎに出発。最後尾の座席でリーダー、T さん、Y さん、S さんらと祝宴？だ。いつものことだが、下山後に風呂で寛いだ後のビールは格別だ。窓外に梅と桜の花が見える。梅は満開で、桜の早いものは 5 部咲き？くらいに見える。今年の桜は例年になく早い。下旬まで持たないのではないだろうか？

昨年の 7 月、赤岳にて本クラブを紹介してくれた Y さん、J さんにも再会できた。もう一人の W さんは退会したと聞いた。同じ団地の K さんが話しかけてくれた。後の 皆さんの名前はゆっくり覚えることにする。海老名 SA を経て、18 時半ごろに姉崎駅に到着。時間はほぼ予定表通りだ。

今回は日曜日のチームに参加する。茨城県最高峰の八溝山（標高 1021.8m）だ。3 年前、坂東三十三観音巡りツアーで 21 番札所の八溝山日輪寺に行ったことがある。八溝山の 8 合目に位置する。道幅は狭く、バスは通行できないので、確かタクシー（に分乗して）で寺まで往復した記憶がある。



以上